

子育て 親育ち

あっぷる通信

特定非営利活動法人すてっぷ・あっぷる 地域子育て支援センターあっぷる

TEL: 090-5764-4428 TEL/FAX: 0553-39-9382

「すてっぷ・あっぷる」では、私たちのNPO法人活動にご賛同いただける方からのご支援を募っています。一時的な寄付にとどまらず、私たちと一緒に子育てを支える側として社会参画しませんか？

賛助会員になってくださった方には、次のような会員特典が付与されます

- ▶最新のニュースレター(会報)のご送付
- ▶ご希望により会報へのご芳名掲載、会報PRコーナーへ貴事業所、店舗の広告掲載
- ▶イベントへのご招待、ご希望によりイベントブースへのご出店
- ▶プロジェクトへのご参画

賛助会員申し込み



賛助会員お申込方法

右記QRコードのページよりご確認、必要事項をご記入の上、ご郵送またはFAXにてお申し込みください。申込書提出に併せて指定口座への賛助会費お振込みをもって、賛助会員手続き完了となります。入金確認次第、折り返し最新の会報をご送付させていただきます。

LINE@で情報発信中!

PCやスマホからラクラク予約! /

毎月のおたよりや、イベント情報などを配信。毎月のレシピなどのコンテンツも充実しています! 10月からはオンライン予約も開始しました! 皆さんの登録をお待ちしています。



これまでの助成金活動

パルシステム山梨/山梨福祉財団/独立行政法人福祉医療機構(WAM)/公益財団法人キリン福祉財団/山梨県地域活性化協働事業費補助金/甲州市協働のまちづくり助成事業/(一社)山梨県労働者福祉協議会/ニッセイ財団



編集後記

久々の制限解除で山積みのやりたいことにバタバタしているうちに、たちまち半期を終え、あれよあれよという間に年末が近づく。日常が戻りつつあるとはいえコロナ禍の後遺症は深く、健康、精神、経済の重い相談も増えている。親子の交流を中心とした子育て支援センターの役割も、今後は相談支援機関としての機能拡大が予想される。乳幼児に限定せず、細く長く関われる機関として存続を目指したい。

編集委員会：塚田純子(編集長) / マークル裕子(編集) / 三森望(デザイン)

カラー版もご覧ください!

すてっぷ・あっぷるのHPでカラー版「あっぷる通信」を掲載中です。右のQRコードを読み取り、是非ご覧ください。

<https://www.kosodate-oyasodachi-apple.org/>



ご意見お待ちしております

「あっぷる通信」のご意見・ご感想をスタッフ一同お待ちしております。右下のQRコードをスマホのカメラから読み取り、メールフォームでご連絡いただくか、下記の連絡先にご連絡ください。

山梨県甲州市勝沼町勝沼756-1 甲州市役所勝沼支所2階
甲州市地域子育て支援施設内
地域子育て支援センターあっぷる

info@kosodate-oyasodachi-apple.org
TEL/FAX 090-5764-4428、0553-39-9382



会計のご案内

HPに収支決済報告がありますので、ぜひご覧ください。



代表挨拶

5類移行、行動制限の解除となったコロナ禍の影響が、今、目に見える形で表れてきている。外出制限で寸断された人との繋がり。特に目立つのが、「枠組み」で動く公的支援体制の弱点。各種検診の中止縮小で、仲間づくりもできず孤独なまま出産を迎えて、ネット検索に頼る初産婦。みんな自粛の影響で外出自体も億劫になるのかもしれない。

いざ、困難に見舞われた時、枠組みにはじかれて支援にたどり着けない人たちのために、民間支援団体だからこそアクセスできる。ボーダレス・フレキシブルな支援の声掛けを続けたい。

(法人代表：塚田純子)

プレパパ・プレママ支援



当初は妊娠中の運動の大切さ、お産のための体力作り、より良いお産のために等、お産に特化したプログラムとしてのスタートでした。続けるうちに、一生通じた運動の重要性、自分の体を知って健康に過ごすことの大切さ、など、産前産後をきっかけに生涯のからだケアを学ぶ形に進化しています。利用者さんの参加のタイミングもさまざまで、昨今は更年期までも扱う、運動を通じた女性の生き方探しなど、広いテーマになった印象です。

自分がととのうことで、周囲もととのう。をモットーに、自分自身の健康にも目を向けてくれたらと願っています。

参加者がなかなか増えないのが課題です。参加を決めるタイミングは個人それぞれですから、今後もチラシ配布、声掛け等も継続していきたいです。

(山口)

TOPIC

特集①事業紹介

NEW キッズダンス・畑バイト
中・高・大生インターンシップ

特集②上半期報告

夏休み小学生講座レポート
就学児健診時親学習講座&土曜日開館



賛助会員様

古寿園

グレープガーデン安全農園

事業紹介

つながる・めぐる支援の輪…周産期から産後へと、そしてこれから親になる青年期へと、世代を超えてつながっていく「助け・助けられる」事業展開

特集①

特集②

上半期報告

キッズダンス



今年度から新たな先生をお迎えして、新体制でのスタート！6月からは、新ジャンルのジャズダンスを取り入れて活動を始めました。受講希望者が募集人数を超えて、残念ながら入会できなかった方もほどの人気ぶりでした。馴染みのある曲での練習なので、受講生のみなさん、楽しく踊れています。例年参加する10月のおよっちょい祭りにも15人が参加できて、日ごろの成果を発表する機会にもなりました。

18人の受講生を迎え、新しいジャンルに挑戦して半年、いろいろなイベントに参加してダンスを楽しんでもらえたと思っています。今後は、ダンスを通じて、将来的にはいろいろな人と自信をもって関われる意識をはぐくんでもらえたらと願っています。

(ダンス担当：相澤)

畑バイト



果樹農家の求人難は、通年勤務でない季節労働なことも原因。他方、子育て中のママ達は働くことでストレス解消やお小遣い稼ぎになるメリットあり。一時預かりの利用でママ達は働く時間が作れ、法人は利用者が増えて嬉しい、農家は地域貢献と人手の確保ができる、三者三得です。法人で会員向け求人募集をし、農家は一時預かり費の支援をする条件で実施しました。

やってみて、短時間勤務したいママ達vs長時間勤務歓迎の農家のすり合わせ、仕事内容の合う合わない、個々人の得手・不得手など、課題も分かりました。全体的には好評でしたので、来年度は峡東地域の多数の農園に声かけを行い、定着化を期待しています。

(担当：山口)

お母さんたちが安心して働けるよう、信頼関係構築を心がけて一時預かりを進めました。

(託児担当：丸田)

中・高・大生インターン

参加者を3年生から全学年にした夏休みの高校生インターン、今年は約90名もの参加があり、更に県立大学から大学生インターンも受け入れました。

保育士、助産師、学校の先生を志望する生徒さんたちに楽しく実践的体験を提供でき、推薦入試も始まっている今「小論文、面接等でこの体験が役立っている」と高校から感謝のお言葉が届きました。11月には勝沼中学校からの職場体験も受け入れ予定です。

(塚田・丸田)



夏休み小学生講座レポート

今年も、英語、感想文、科学実験、ポスター、運動など様々な活動に延べ約100名の小学生が参加してくれました。今年は、高校生ボランティアに加えて、あっぷっぷ利用者で育児中の小学校の先生方のお手伝いもあり、ありがたかったです。

山梨高校美術部の皆さんによる、初のポスター教室開催では、顧問や講師の先生もお手伝いいただき、多くの子供たちの参加で盛況でした。夏休みが終わってから、感想文やポスターの入賞などの嬉しいお知らせも届いています。

農繁期で忙しい利用者さんの要望で、小学生の1日預かりを3日間実施し、小学校1年生から最年長は4年生まで述べ21人の利用があり、子どもたちも楽しそうでした。

(法人代表：塚田)



就学児健診時親学習講座



例年通り山梨小、笛川小、大和小の3校で「笑顔いっぱい にじいろ子育て～就学前に家庭でできること」の表題で実施。就学前の保護者がもつ、生活面、学習面の不安解消のため、話の聞き方や「怒るから伝える」等のコミュニケーションの取り方等を学ぶワークショップも行いました。講師自身も2人目が就学するスタッフで皆さんどなたも熱心に聞いて下さいました。

「普段は仕事と子育てに忙しくて、興味があっても時間が取れなかった。初めて子育ての講座を聞くことができ良かった。」との感想に、親学習講座が就学児健診の待ち時間に実施される良さを感じました。講師をさせて頂いたことで、私自身の学びにもなりました。

一人の親として失敗ばかりの毎日ですが、それを恐れず子どもも親もいっしょに成長していければと思っています。」と感想と嬉しい報告でした。

(塚田・清水)

土曜日開館



4月より「平日参加が難しい人向けの子育て講習会」の趣旨で土曜開館をスタート。当初は子育て中のパパと妊娠中のカップルが対象のつもりが、実際は特にパパ達に敷居が高いことが判明！一方「土曜に母親だけでも遊びに行ける場所が欲しい」との声も。

そこで、必要なら自由に来館できる日を作り、徐々にパパ友の交流や子育て講座について周知していくことに。気長に取り組んでいきたいです。

(塚田)

「かぞくの日」は第2土曜のパパ向け育児講座、第4土曜の産前産後ストレッチ講座で始まり、9月から自由来館も開始しました。

普段来られないパパにも支援センターを知り、遊び場に利用して貰えたら嬉しいです。産前産後ストレッチのペアトレでは、パパも出産の準備や育児と一緒に関わるときっかけになって欲しいです。

(相澤)